【第2次スポーツ推進計画における主な記載（抜粋）】

**「府民誰もがスポーツに関わり親しむ機会の創造」－「あらゆる世代でのスポーツ活動の推進」**

　府民誰もがそれぞれのライフステージにおいて豊かな生活を送ることができるよう、市町村、学校体育・スポーツ関係者・団体、企業等と連携して、様々なジャンルや種目のスポーツを「いつでも」「どこでも」「どのようにも」楽しむことができる環境整備を推進します。

　①　子ども　幼児期の運動経験や運動の好き嫌いがその後の運動習慣や体力・運動能力に影響を与え、また、複数のスポーツの経験がより良い効果をもたらすことから、就学前から義務教育期にかけて様々な運動・スポーツに親しむ機会を創出します。

　②　働き盛り、子育て世代　府内のスポーツ実施率は30歳代で低く、30歳代・40歳代の女性で特に低くなっています。このようなスポーツから「距離のある」人がスポーツをするきっかけとなるような取組を進め、気軽にスポーツに親しめる機会を創出していきます。

　③　高齢者　幸福で豊かな高齢期の実現には健康保持・増進や介護予防が必要であり、それにはスポーツが大きな役割を果たすことができます。高齢者が身近に気軽にスポーツを継続できる環境の整備を図ります。

**【令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査（抜粋）】**

第３次大阪府スポーツ推進計画の策定に向けた課題整理

資料６

**Ⅰ【スポーツ実施率】**

〇成人では、前年度の53.6％から59.9％と6.3％増加。年代別では若年層（10・20代）を中心に各層で上昇。

〇しかし、１ 働き盛り世代を含む20～50代は全体平均を下回り、特に40代がもっとも低くなっている。

**Ⅱ【1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度】**

〇全年代で、「増えた」と答えた者が18.0％。「変わらない」「あまり変わらない」が52.5％と最も高くなっ

ている。しかし、２ 「減った」が26.1％で、全年代で「増えた」より高くなっている。

〇男女ともに20代・30代で「増えた」と答えた割合が20％を上回る一方、男女ともに70代が一番低い。

〇３ 男女ともに「減った」と答えた割合が高いのは10・20代で、特に10代は40％を超えている。

**Ⅲ【運動・スポーツの実施が増加した理由】**

〇４ 増えた理由は「感染症対策による日常生活の変化」が36.4％で最も高く、次いで「仕事が忙しくな

くなったから」（27.0％）、「運動・スポーツが好きになったから」（16.4％）と続く。

〇年代別では、「コロナウィルス感染症対策による日常生活の変化」は50代、「仕事が忙しくなくなった

から」は20代、「運動・スポーツが好きになったから」は10代、「健康になったから」は70代で、高い。

**【運動・スポーツの実施阻害要因】**

〇阻害要因としては、「仕事や家事が忙しいから」が39.9％で最も高く、次いで「面倒くさいから」（26.4％）、

「年をとったから」（23.6％）、「コロナウィルス感染症対策による日常生活の変化」（18.1％）の順。

〇５ 年代別では、「仕事や家事が忙しいから」は20代～30 代で、「感染症対策による日常生活の変化」は

70代で、「子どもに手がかかるから」は30代で、「場所や施設がないから」は10代で、割合が高い。

**成人の週1回以上のスポーツ実施率の推移**（スポーツ庁　世論調査より）

〇2020（令和2）年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は59.5％で、計画初年度の2017

（平成29）年度から9.2％増加。府計画の目標値である50％を達成。

〇計画期間において、全国における値と同様の傾向を示している。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度目標値 |
| 大阪府 | 42.3％ | 50.3％ | 56.4％ | 56.2％ | 59.5％ | 50％ |
| 全国 | 42.5％ | 51.5％ | 55.1％ | 53.6％ | 59.9％ | 65％ |

**Ⅳ【運動・スポーツを実施した理由、スポーツの価値】**

〇６ 実施理由としては、「健康のため」が最も高く、「体力増進・維持のため」が続いている。

〇７ 価値は、「健康・体力の保持増進」が77.0％と最も高く、「人と人との交流」「精神的な充足感」が続く。

**＜課題の整理＞**

**１、２、３、５　　　年代で傾向・要因の違い　　　　　〇スポーツ実施率の向上、スポーツ参画人口の拡大を図るため、実質率の低い層へのスポーツをするきっかけづくりに向けたアプローチ。**

**〇ライフステージに応じたスポーツ機会の提供・情報発信等について、働き盛り世代、障がい者等個々のニーズを踏まえた取組み。**

**６、７　　　　　　　スポーツの実施理由・価値　　　 　〇スポーツが有する重要な価値である健康増進を踏まえ、アクティブライフの実現に向け、スポーツと健康づくりについて重点的に取組み。**

**４、５、７　　　　　スポーツと生活、その価値　　 　 〇スポーツと生活の関係、人と人とを結ぶスポーツの価値を踏まえ、スポーツを積極的に活用したまちづくり・地域活性化の取組み。**

**〇地域活性化にあたっては、大阪の魅力的な地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進し、都市魅力を創出。**

**２、４、５　　　　　感染症の感染拡大の影響　　　　　〇新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを鑑み、計画策定や個々の事業実施においても、コロナ禍を踏まえ対応。**

**多分野にわたる取組みの必要性から、多分野にわたるスポーツ施策の展開のためには、庁内の体制構築・連携強化とともに、関係団体・関係者との連携体制構築。**